

平成28年度第3回河南町地域公共交通検討会議 会議録（議事要旨）

○ 日 時 / 平成28年11月 9日（水）午後2時00分～午後4時00分

○ 場 所 / 河南町役場4階 大会議室北

○ 出席者 / 委員12名／欠席委員4名

事務局6名

傍聴者6名

- 配布資料
- ・議事次第
  - ・委員名簿
  - ・前回議事要旨
  - ・検討会議資料（資料1～資料2）

- 議 第
1. 開会
  2. 挨拶
  3. 案件

（1）見直し案（資料-1）について

（2）スケジュールの確認（資料-2）について

○議事要旨

■（1）見直し案（資料-1）について

事務局から概略説明。

■（2）スケジュールの確認（資料-2）について

事務局から概略説明。

◆意見

- 今回の見直し案（ルート、ダイヤ調整など）について金剛バスと協議（了承）はしているか。
  - 会議資料は、送付しているが協議はまだである。今後も引き続き、ねばり強く協議していく。
  
  - 支局も金剛バスに対して働きかける。
  
- 神山バス停で金剛バスと循環バスが乗り継げるようになるとお互い非常に利用者が多くなると思われる。待ち時間のないようなダイヤ調整は考えているか。
  - 循環バス側でダイヤ調整の検討を行い、なるべく金剛バスの待ち時間のないように努める。
  
- 金剛バスと循環バスの乗り継ぎするような利用者の行動パターンはどのようなものか。
  - さくら坂から駅の金剛バスは、朝夕の通勤時間帯に集中し、日中は本数が少ない。一方、神山バス停を通る金剛バス（千早線）は日中でも1時間に2～3本運行している。神山バス停で循環バスと金剛バスを乗り継ぐことによって日中でも駅への移動サービス水準が高くなると考えられる。
  
- 現在、山手路線の運行日は、月・水・金曜日である。かなんぴあが月曜日休館なので、運行曜日の変更を検討して欲しい。運行時間帯も8時便・17時便の利用者は少ないので変更を検討して欲しい。利用者の行動特性は大体わかってきた。
  
- 山手路線は、利用者が少ないがニーズは高い。できるだけ現状のサービス水準を維持して欲しい。
  - 山手路線の見直しについては、タクシー会社から利用者状況をヒアリングし、協議すること。

- 運行にあたっては今後も町負担が必要になるが、全国的に行政負担の問題はどうなるのか。

→全国的にも行政負担は問題になっている。将来的に高齢化が進み、今以上に行政負担が大きくなると予想される。このあたりについて住民の理解が必要である。場合によっては運賃の検討もすべきかもしれない。

→一般住民は運行するために「一人あたり1,700円/年が必要」ということは知らない。利用者数に加えて、コストについても住民に説明する必要がある。

- 今回の見直し案では、道の駅を経由するルートを設定した。例えば、北部の住民が乗り継いで道の駅に行けるようになるなど、行動パターンが増える。住民にはどういう利用をしたいかなど考えて頂きたい。

- 今回の見直し案は了承して頂いた。山手路線の見直しについては、タクシー会社と協議を進めて欲しい。

- 見直し案について住民への説明はどのような方法を考えているのか。

→まずは、見直し案を区長に説明するとともに、住民への説明方法を相談したい。